

水の郷日野 食と農とまちづくり

今、時代は転換点を迎えています。自然環境を大切に、地産地消の自立した地域を目指す動きも各地で広がっており、暮らしを大切にするイタリアで生まれたスローフード、スローシティの考え方が、世界の人々の心をとらえています。
日野の土地がもっている大きな可能性、貴重な資産を様々な角度から掘り起こし、魅力を描き、「農ある風景」を活かした今後の「水の郷」の地域づくりについて考えてみたいと思います。



日時 2010年10月23日(土) 12:50-
場所 七生公会堂 (日野市三沢3-50-1)

[定員] 300人 *事前申し込み不要
[参加費] 無料

■開場 12:30

■基調講演 13:00-14:30

Barbara Staniscia 『食と農の観光による地域再生』

ローマ大学 - Course of Tourism Science Faculty of Human Sciences (人間科学部観光科学コース) 講師。地域文化を活かしたローカルな観光を研究。主な著書に『Turismo urbano』(共著) などがある。

島村菜津 『スローフードとまちづくり』

ノンフィクション作家。東京芸術大学芸術学卒業。毎年数ヶ月をイタリア各地で過ごし、紀行・美術・映画などの記事を各誌に寄稿。主な著書に『スローフードな人生!...イタリアの食から始まる』、『フレンチエリート殺人』、『スローフードな日本!』などがある。

■パネルディスカッション 14:40-16:10

[パネラー]

Barbara Staniscia ローマ大学

島村菜津 ノンフィクション作家

石坂昌子 石坂ファームハウス

日野百草在住。自給自足の農業とともに市民の農の触れ合い、農への理解を進めるために『自然の恵みを楽しむ会』主宰。10月に『自然のめぐみを楽しむ昔ながらの和の行状』出版予定。

佐藤美千代 まちの生ごみ活かし隊

日野新井在住。まちの生ごみ活かし隊代表。資源の地域内循環を目指し、家庭の生ごみを回収し堆肥化する活動をつづけている。畑は援農として地域住民を巻き込み、作物の生産だけでなく環境教育などにも活かされている。「市民による都市農地研究会」の事務局。

大江正章 コモンズ代表

ジャーナリスト。コモンズは環境・アジア・農・食・自治などをテーマに暮らしを見直す、わかりやすく質の高いメッセージを伝える新しい出版社。主な著書は『農業という仕事-食と環境を守る。』『地域の力-食・農・まちづくり』などがある。



[コーディネイト]

陣内秀信 法政大学デザイン工学部教授

法政大学エコ地域デザイン研究所所長。専門はイタリア建築史・都市史。著書に『東京の空間人類学』(筑摩書房)、『東京』(文藝春秋社)、『イタリア海洋都市の精神』(講談社) など多数ある。

■閉会 16:15

■交流会 17:00-19:00 七生福祉センター1F

■食と農とまちづくりツアー *申し込み先着順(定員20名)

10月23日(土) 10:00-12:00

[集合時間] 9:30 [集合場所] 七生公会堂

■水の郷写真展(同時開催) 七生公会堂2Fホール

[問い合わせ・申し込み先]

日野市緑と清流課 042-585-1111

法政大学エコ地域デザイン研究所 042-365-1228

七生公会堂

三沢3丁目50番地の1 旧七生支所2階
電話 042-593-2911

◆京王線高橋不動駅から徒歩5分

